

# 国土形成計画(全国計画)について

説明資料

平成20年2月

国土交通省 国土計画局

# 国土形成計画について

- 量的拡大「開発」基調から「成熟社会型の計画」へ
- 国主導から二層の計画体系(分権型の計画づくり)へ

## 国土形成計画の枠組み

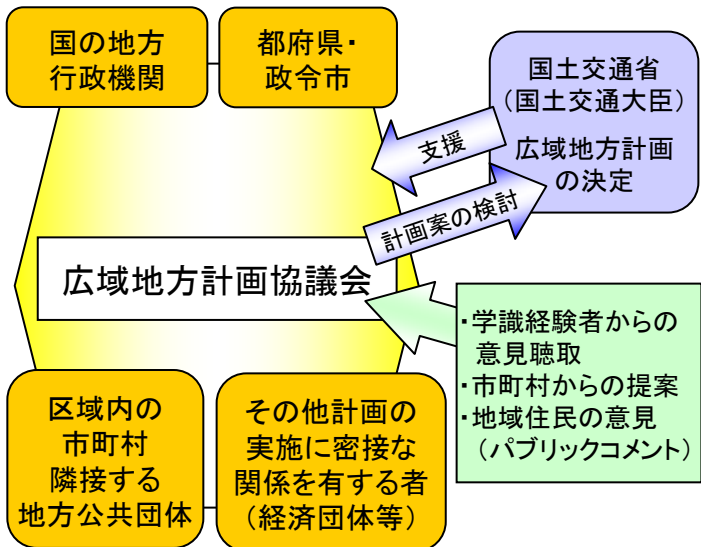
根拠法:国土形成計画法  
(国土総合開発法の抜本改正により平成17年に成立)

### 全国計画 (平成19年度)

- 長期的な国土づくりの指針(閣議決定)
- 地方公共団体から国への計画提案制度

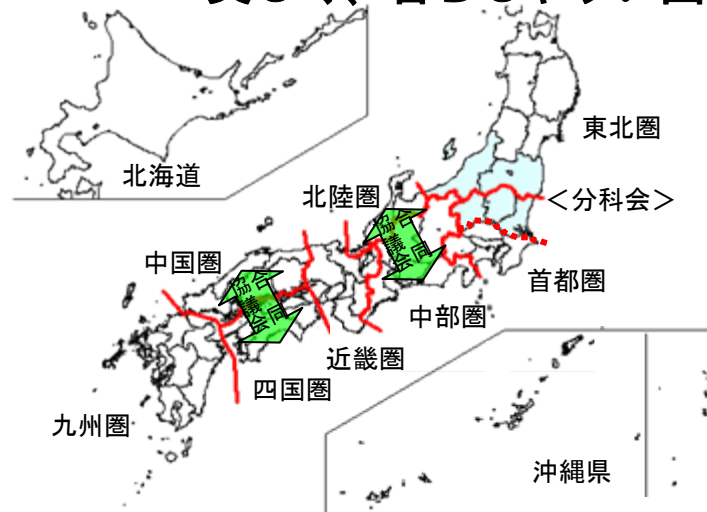
### 広域地方計画 (平成20年度)

- 国と地方の協働による広域ブロックづくり
  - ・ 国、地方公共団体、経済団体等で広域地方計画協議会を組織
  - ・ 計画の策定に向けて、同協議会において各主体が対等な立場で連携・協力



## 新しい国土像

「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築」  
「美しく、暮らしやすい国土の形成」



広域ブロックと各国のGDP( )  
(2004年)

国名	GDP (名目、億米\$)
日本	46,092
イギリス	21,552
フランス	20,598
首都圏	17,588
カナダ	9,917
近畿圏	7,422
韓国	6,805
中部圏	6,779
オランダ	6,067
九州圏	4,070
東北圏	3,902
スイス	3,586
ベルギー	3,576
スウェーデン	3,501
オーストリア	2,928
中国圏	2,683
デンマーク	2,449
フィンランド	1,859
アイルランド	1,844
北海道	1,817
四国圏	1,250
北陸圏	1,150
シンガポール	1,075
ニュージーランド	989

- 広域ブロックごとに特色ある戦略を描く
- 各ブロックが交流・連携、相乗効果による活力
- 各地域が相互に補い合って共生
- 文化・伝統や個性ある景観など美しい国土の再構築

このためブロックの外に向かっては、とりわけ、

- ・ 東アジア等との交流・連携
- ・ 太平洋のみならず、日本海及び東シナ海の活用

ブロックの内部では、

- ・ 成長エンジンとなる都市・産業の強化
- ・ 各地域が連携、相互補完
- ・ 地域の総合力を結集し、安心して暮らせる生活圏域を形成

( ) 内閣府「2004年度県民経済計算」、「世界の統計2006」、「世界の統計2007」をもとに国土交通省国土計画局作成。  
なお、為替レートは「世界の統計2007」のドル円レート暦年値により換算。

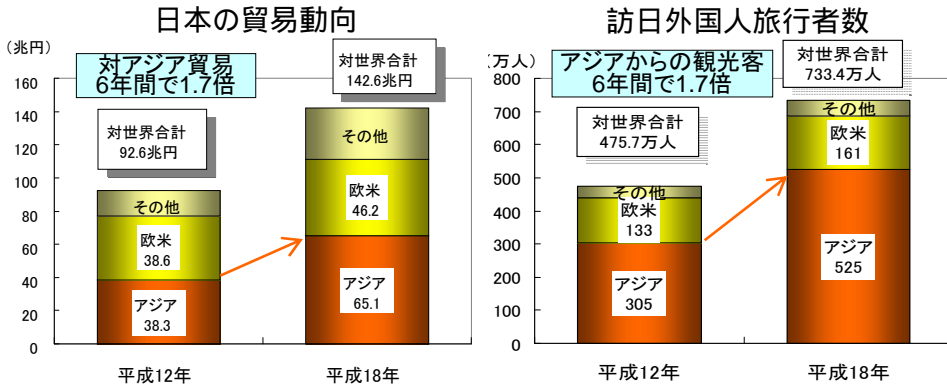
# 新しい国土像実現のための戦略的目標①

## <グローバル化や人口減少に対応する国土の形成>

### 東アジアとの円滑な交流・連携

広域ブロックが東アジアの各地域と直接交流・連携し、アジアの成長のダイナミズムを取り込んでいく

- ・東アジアの市場をにらんだ企業の新しい発展戦略
- ・観光立国の実現
- ・陸海空にわたる交通・情報通信ネットワークの形成



### 広域的な観光連携による外国人観光客誘致



### 持続可能な地域の形成

人口減少下においても、地域力(地域の総合力)の結集、地域間の交流・連携により、魅力的で質の高い生活環境を維持していく

- ・集約型都市構造への転換
- ・医療等の機能維持など広域的対応
- ・新しい科学技術による地域産業の活性化
- ・美しく暮らしやすい農山漁村の形成
- ・二地域居住、外部人材の活用
- ・条件の厳しい地域への対応



救急医療を支える高速道路の緊急出入口(青森市)

### 地域資源を活かした産業の活性化(山形県)



山形 カロツェリア・プロジェクト  
・県内の優れた職人技術による世界に通用する山形ブランドの商品開発

### 二地域居住の情報プラットフォーム(平成19年11月試行運用開始)



### 道の駅等を活用した交流・連携の核となる場(熊本県小国町)



道の駅に併設されたバス停

道の駅での情報発信(コミュニティFM)

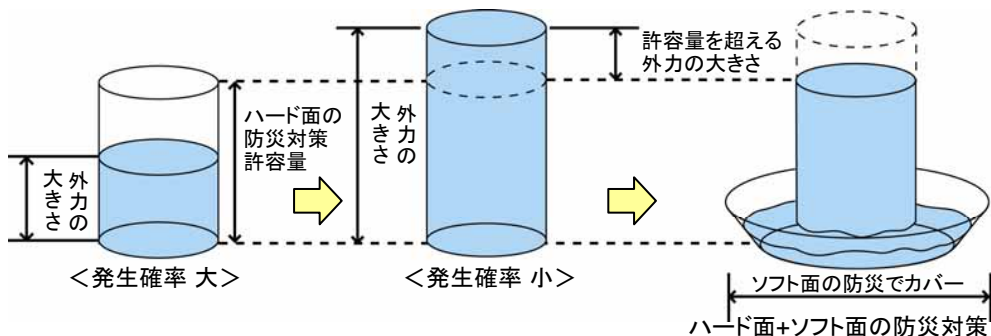
# 新しい国土像実現のための戦略的目標②

## ＜安全で美しい国土の再構築と継承＞

### 災害に強いしなやかな国土の形成

減災の観点も重視した災害対策や災害に強い国土構造への再構築を進め、安全で安心した生活を保障していく

- ・ハード・ソフト一体となった総合的な災害対策の推進
- ・災害に強い国土利用への誘導
- ・交通・通信網等の迂回ルート等の余裕性
- ・避難誘導體制の充実など地域防災力の強化



### 美しい国土の管理と継承

美しい国土を守り、次世代へと継承するため、国土を形づくる各種資源を適切に管理、回復

- ・健全な物質循環と生態系の維持・形成
- ・海域の適正な利用・保全
- ・個性豊かな地域文化の継承と創造
- ・国土の国民的経営の取組

#### 「国土の国民的経営」の取組事例

##### 多様な活動者の育成



地域全体で農地等の保全・管理  
(栃木県河内町)

##### 国土管理への参加手法の多様化



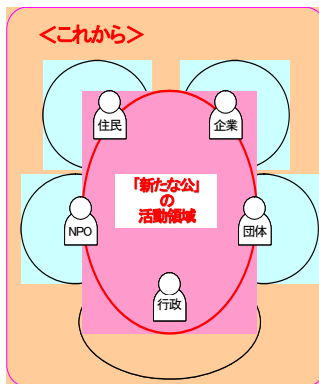
間伐材を活用したバッグ  
(高知県馬路村)

## ＜4つの戦略的目標を推進するための横断的視点＞

### 「新たな公」を基軸とする地域づくり

多様な主体の参画を、地域の課題の解決やきめ細かなサービスの供給につなげる

- ・地縁型コミュニティ、NPO、企業、行政等の協働による居住環境整備等
- ・地域の発意・活動による地域資源の発掘・活用等
- ・維持・存続が危ぶまれる集落への目配りと暮らしの将来像の合意形成



従来の私の領域で  
公共的価値を含む活動



空き店舗を託児所に活用  
した中心市街地活性化  
(高知市)

公と私の中間的な領域を  
新たに担う活動



NPO等による過疎地有償  
運送(長野県中川村)

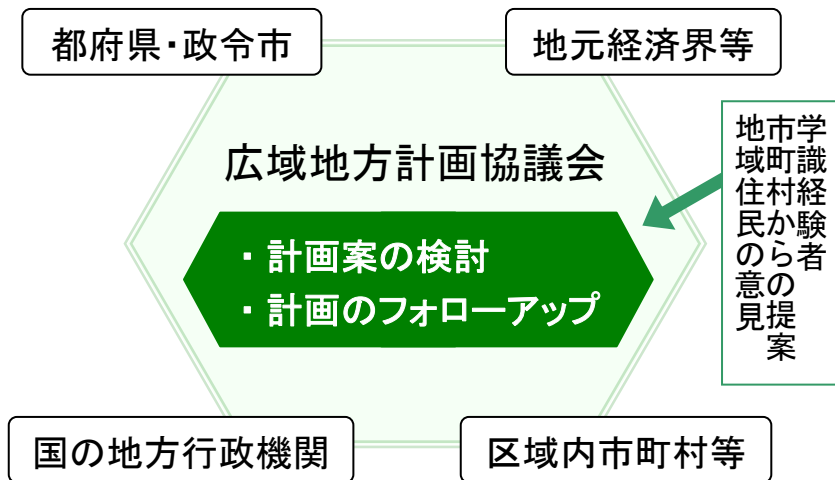
従来の公の領域で  
民間が主体的に担う活動



市民との協働による河川敷  
の清掃活動(熊本県白川)

# 広域地方計画の策定・推進

## 地域の協働による計画案の検討



## 広域地方計画の意義と役割

- ・ 地域の実情に即した地域の将来像等を定める計画
- ・ 当該区域における国土の形成に関する基本的方針、目標のほか、広域の見地から当該地域において戦略的に実施すべき具体的な施策を記述
- ・ 広域地方計画協議会の議を経て、国土交通大臣が決定
- ・ 国の地方支分部局、地方公共団体、地元経済界等が協働しながらビジョンづくりに取り組むことで、長期的な方針・目標の共有化

## 独自性ある広域地方計画の策定

### 策定に当たって必要な検討事項

- ① 地域の現状分析に基づく地域特性の把握
- ② 地域の発展に向けた独自の地域戦略の立案
- ③ 独自の地域戦略に基づく重点的・選択的な資源投入

### 地域戦略の立案に当たっての視点

- ① 国土における自らのブロックの位置付けと東アジアの中での独自性の発現
- ② ブロックの特性を踏まえた域内の各都市や地域の連携方策のあり方
- ③ 全国共通の課題に対するブロック独自の対応策
- ④ それぞれの広域ブロック固有の課題への取組